

第3章 市民アンケート調査からみた本庄市の現状

1. 調査の概要

(1) 調査の目的と実施概要

本計画を策定するにあたって、次の市民アンケート調査を実施しました。

① 本庄市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

■ 調査の実施概要 ■

調査種別	未就学児の保護者対象調査 (P.17～21 参照)	小学生の保護者対象調査 (P.22～26 参照)
調査対象	市内在住の未就学児の保護者	市内在住の小学生の保護者
抽出方法	無作為抽出	無作為抽出
調査方法	郵送法・Web	郵送法・Web
調査時期	令和6年2月～3月	令和6年2月～3月
調査地域	本庄市全域	本庄市全域
配布数	1,500	1,500
有効回収数	855	871
有効回収率	57.00%	58.07%

② 本庄市子どもの生活状況調査

■ 調査の実施概要 ■

調査種別	小中学生の 保護者対象調査 (P.27～30 参照)	小学生対象調査 (P.31～34 参照)	中学生対象調査 (P.35～38 参照)
調査対象	市立小中学校の 小学5年生及び 中学2年生の保護者	市立小学校の 小学5年生	市立中学校の 中学2年生
抽出方法	原則として全数調査	原則として全数調査	原則として全数調査
調査方法	学校配布 紙及びWeb回答併用	Web	Web
調査時期	令和6年2月～3月	令和6年2月～3月	令和6年2月～3月
調査地域	本庄市全域	本庄市全域	本庄市全域
配布数	1,123	599	524
有効回収数	656	527	506
有効回収率	58.41%	87.98%	96.56%

③ 本庄市子ども・若者意識調査

■調査の実施概要■

調査種別	16～39 歳のこども・若者世代対象調査（P.39～43 参照）
調査対象	市内在住の 16～39 歳のこども・若者世代
抽出方法	無作為抽出
調査方法	Web
調査時期	令和 6 年 2 月～ 3 月
調査地域	本庄市全域
配布数	2,000
有効回収数	543
有効回収率	27.15%

（２）調査結果における数値の基本的な取り扱いについて

- 比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下 2 位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100％を上下する場合があります。
- 基数となるべき実数は“n = ○○○”として掲載し、各比率は n を 100％として算出しています。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1 人の回答者が 2 つ以上の回答を出してもよい問です。そのため、各回答の合計比率が 100％を超える場合があります。

2. 市民アンケート調査の結果（概要）

（1）未就学児の保護者対象調査（調査名：本庄市子ども・子育て支援に関するニーズ調査）

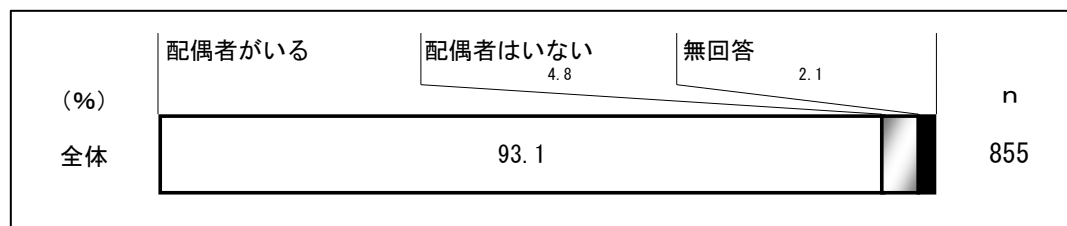
① 配偶関係

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。



回答者の4.8%が「配偶者はいない」と回答しています。

■配偶関係■



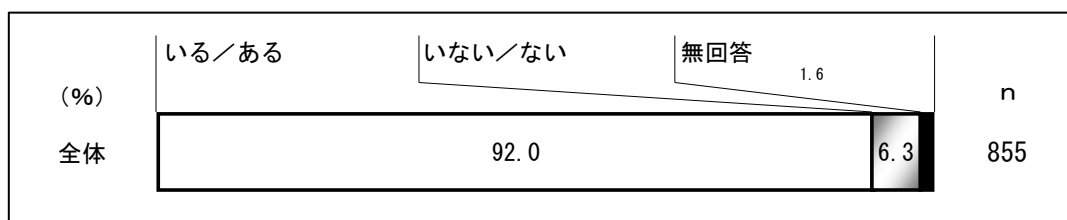
② 子育てについての相談先の有無

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。



回答者の6.3%が気軽に相談できる人や場所が「いない／ない」と回答しています。

■子育てについての相談先の有無■



③ 母親の就労状況

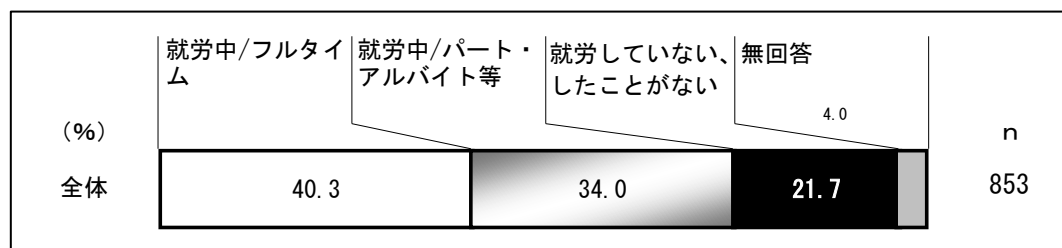
問6 宛名のお子さんの「母親」の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。



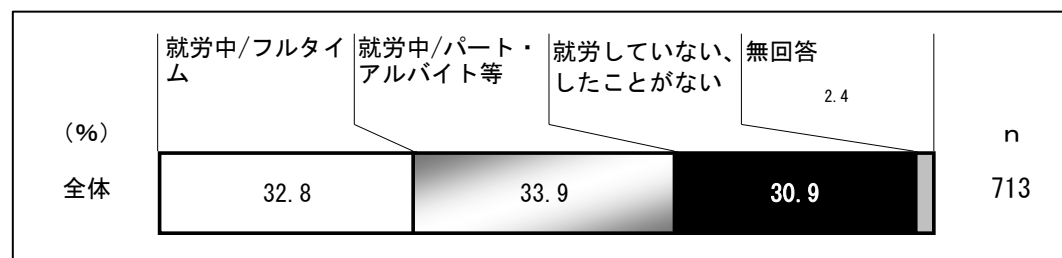
「就労中／フルタイム」（40.3%）、「就労中／パート・アルバイト等」（34.0%）、「就労していない、したことがない」（21.7%）。

前回調査と比較して、「就労中／フルタイム」の割合が7.5ポイント増加した一方、「就労していない、したことがない」が9.2ポイント減少しており、働く母親が増加しています。

■ 母親の就労状況 ■



■ （参考） 前回調査の結果 ■



④ 本庄市内の公園に対する満足度

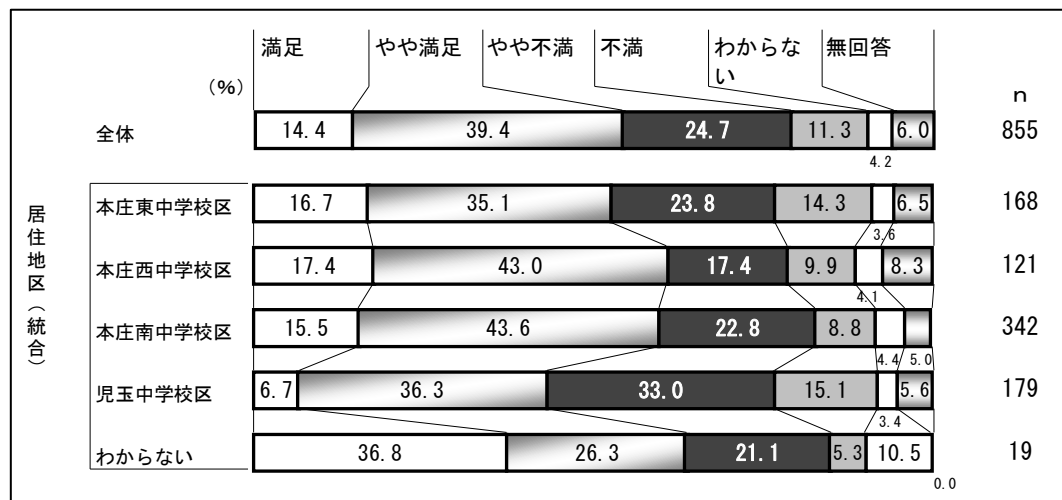
問 24 あなたは、本庄市内の公園に満足していますか。



全体の回答としては、「やや満足」（39.4%）、「やや不満」（24.7%）、「満足」（14.4%）、「不満」（11.3%）、「わからない」（4.2%）となっています。

児玉中学校区で「満足」と「やや満足」を足し合わせた“満足”が他の中学校区と比べてやや低い（43.0%）結果となっています。

■本庄市内の公園に対する満足度■



⑤ 公園に不満の理由

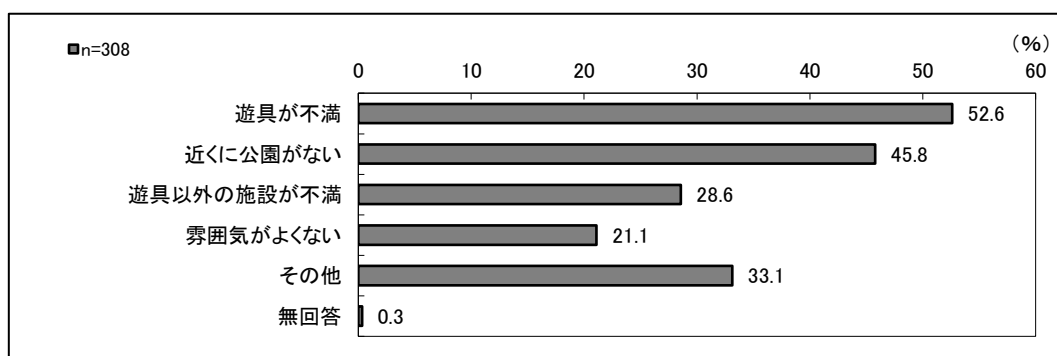
※問 24 で、「3. やや不満」または「4. 不満」に○をつけた方

問 24-1 不満の理由は何ですか。【複数回答】



「遊具が不満」（52.6%）、「近くに公園がない」（45.8%）、「遊具以外の施設が不満」（28.6%）、「雰囲気がよくない」（21.1%）、「その他」（33.1%）。
児玉中学校区での不満の理由は「近くに公園がない」が最も高く、62.8%となっています。

■不満の理由■



■クロス集計表■

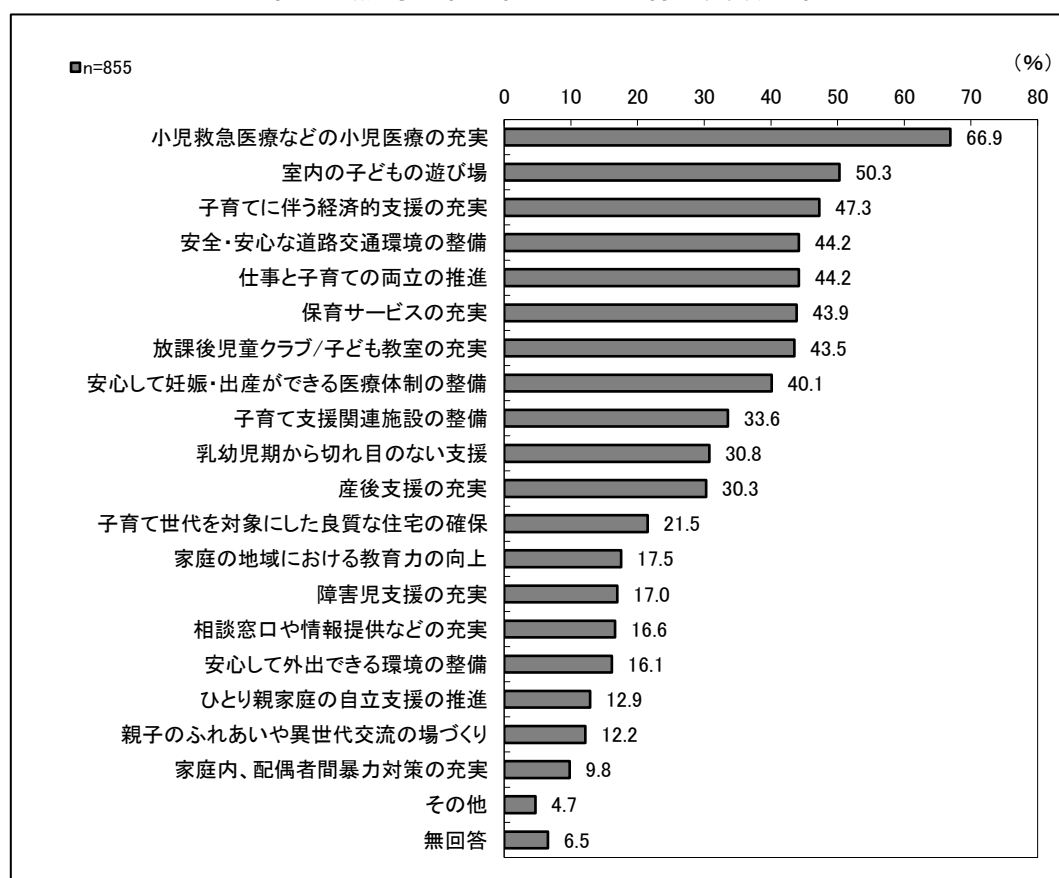
		合計	問24-1 不満の理由						非該当
			遊具が不満	遊具以外の施設が不満	雰囲気がよくない	近くに公園がない	その他	無回答	
全体		308 100.0%	162 52.6%	88 28.6%	65 21.1%	141 45.8%	102 33.1%	1 0.3%	547
居住地区 (統合)	本庄東中学校区	64 100.0%	38 59.4%	24 37.5%	19 29.7%	24 37.5%	23 35.9%	0 0.0%	104
	本庄西中学校区	33 100.0%	17 51.5%	10 30.3%	10 30.3%	11 33.3%	11 33.3%	1 3.0%	88
	本庄南中学校区	108 100.0%	59 54.6%	31 28.7%	25 23.1%	44 40.7%	37 34.3%	0 0.0%	234
	児玉中学校区	86 100.0%	41 47.7%	19 22.1%	8 9.3%	54 62.8%	24 27.9%	0 0.0%	93
	わからない	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	14

⑥ 市が重点的に取り組むべき子育て支援施策

問 25 子育て支援の環境づくりに対する施策について、市が重点的に取り組む必要性が高いと思われるものは何だと思いますか。【複数回答】

「小児救急医療などの小児医療の充実」(66.9%)が最も高い割合を占めています。
 「室内の子どもの遊び場」(50.3%)、「子育てに伴う経済的支援の充実」(47.3%)、「安全・安心な道路交通環境の整備」(44.2%)、「仕事と子育ての両立の推進」(44.2%)、「保育サービスの充実」(43.9%)、「放課後児童クラブ／子ども教室の充実」(43.5%)、「安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備」(40.1%)等がこれに続く結果となっています。

■市が重点的に取り組むべき子育て支援施策■



（２）小学生の保護者対象調査（調査名：本庄市子ども・子育て支援に関するニーズ調査）

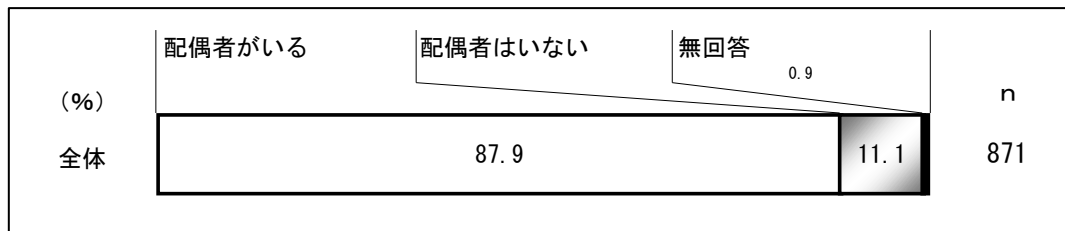
① 配偶関係

問４ この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。



回答者の 11.1% が「配偶者はいない」と回答しています。未就学児の保護者対象調査の結果（4.8%）と比較して、6.3 ポイント高い結果となっています。

■配偶関係■



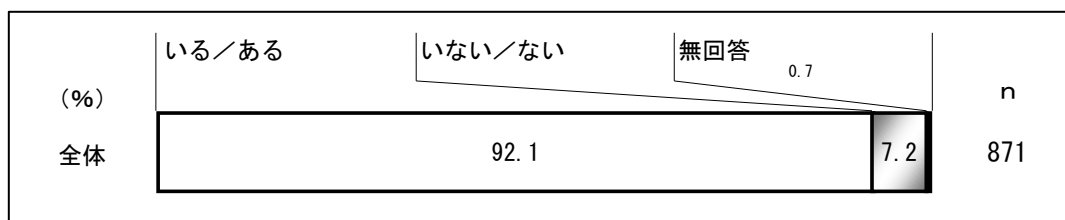
② 子育てについての相談先の有無

問５ 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。



回答者の 7.2% が気軽に相談できる人や場所が「いない／ない」と回答しています。未就学児の保護者対象調査の結果（6.3%）と比較して、0.9 ポイント高い結果となっています。

■子育てについての相談先の有無■



③ 母親の就労状況

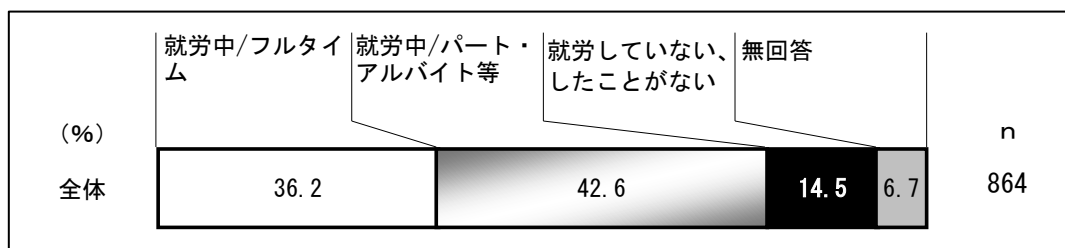
問6 宛名のお子さんの「母親」の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。



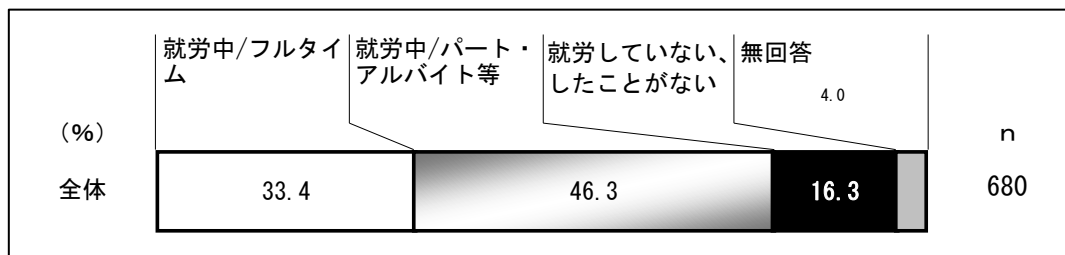
「就労中/パート・アルバイト等」（42.6%）、「就労中/フルタイム」（36.2%）、「就労していない、したことがない」（14.5%）。

前回調査と比較して、「就労中／フルタイム」の割合が2.8ポイント増加した一方、「就労していない、したことがない」が1.8ポイント減少しています。

■ 母親の就労状況 ■



■（参考）前回調査の結果■

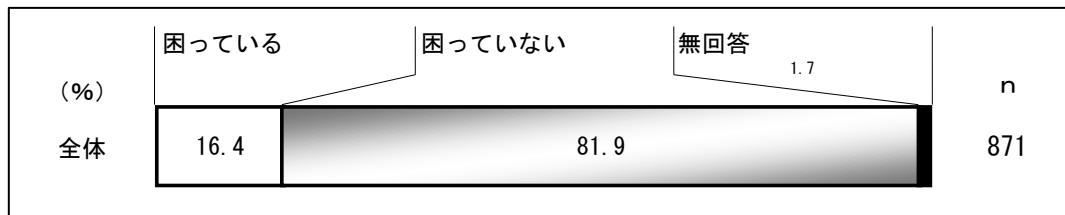


④ こどもの習い事のための交通手段で困っているか

問 16 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）や土曜日、日曜日、祝日に、学童保育所や塾、習い事など（以下「習い事等」という。）への送迎について、交通手段で困っていますか。

回答者の 16.4%が「困っている」と回答しています。

■習い事のための交通手段で困っているか■

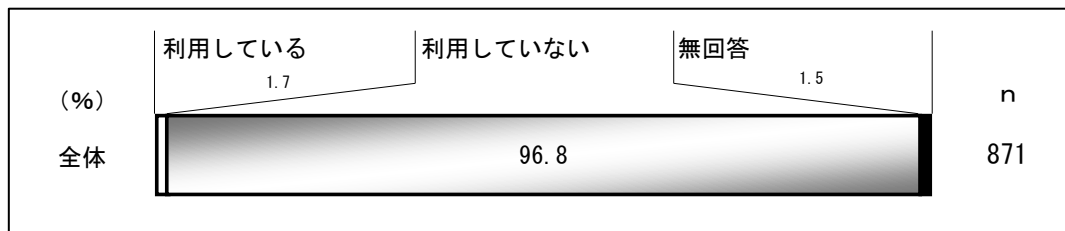


⑤ デマンドバスの利用状況

問 17 市では、デマンドバス※（はにぽん号・もといずみ号）を運行していますが、デマンドバスを利用していますか。

回答者の大半（96.8%）が「利用していない」と回答しています。

■デマンドバスの利用状況■



⑥ 習い事等の送迎のためのデマンドバスの利用意向

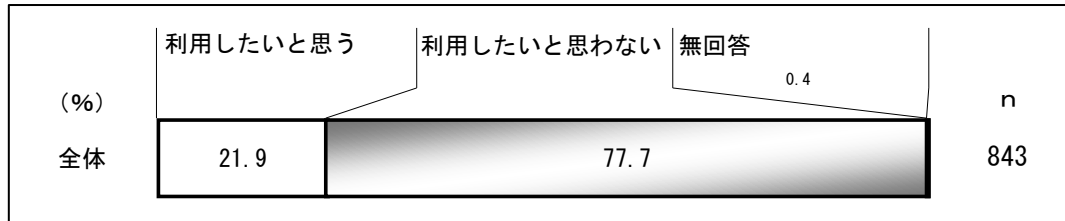
※問 17 で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ

問 17-1 お子さんの習い事等への送迎に、デマンドバスを利用したいと思いますか。



回答者の 21.9%が「利用したいと思う」と回答しています。

■習い事等の送迎のためのデマンドバスの利用意向■



⑦ デマンドバスを利用したいと思わない理由

※問 17-1 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方のみ

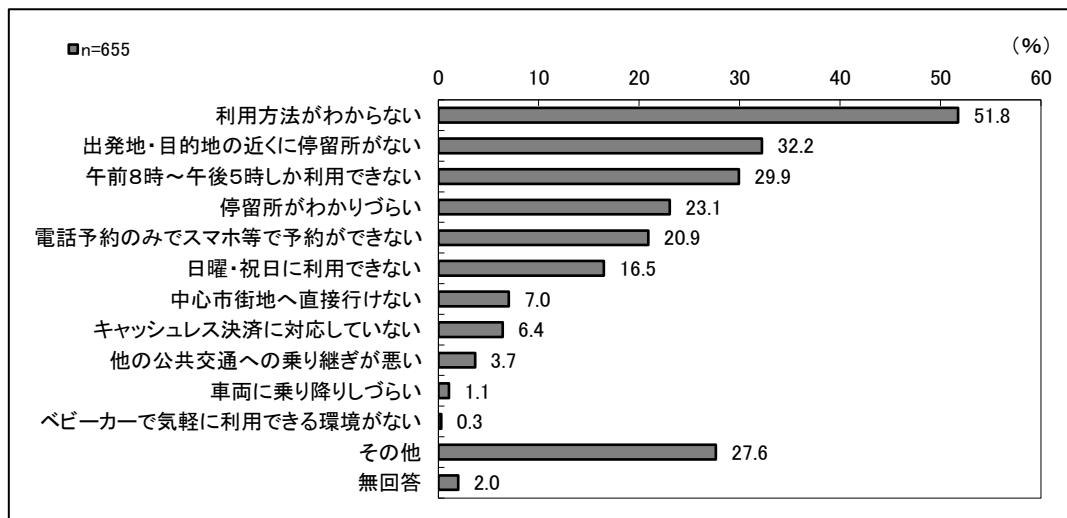
問 17-2 デマンドバス（はにぽん号・もといずみ号）を利用したいと思わない（利用しない）理由を教えてください。【複数回答】



「利用方法がわからない」（51.8%）が過半数を占めています。

「出発地・目的地の近くに停留所がない」（32.2%）、「午前8時～午後5時しか利用できない」（29.9%）、「停留所がわかりづらい」（23.1%）、「電話予約のみでスマホ等で予約ができない」（20.9%）、「日曜・祝日に利用できない」（16.5%）等がこれに続く結果となっています。

■デマンドバスを利用したいと思わない理由■

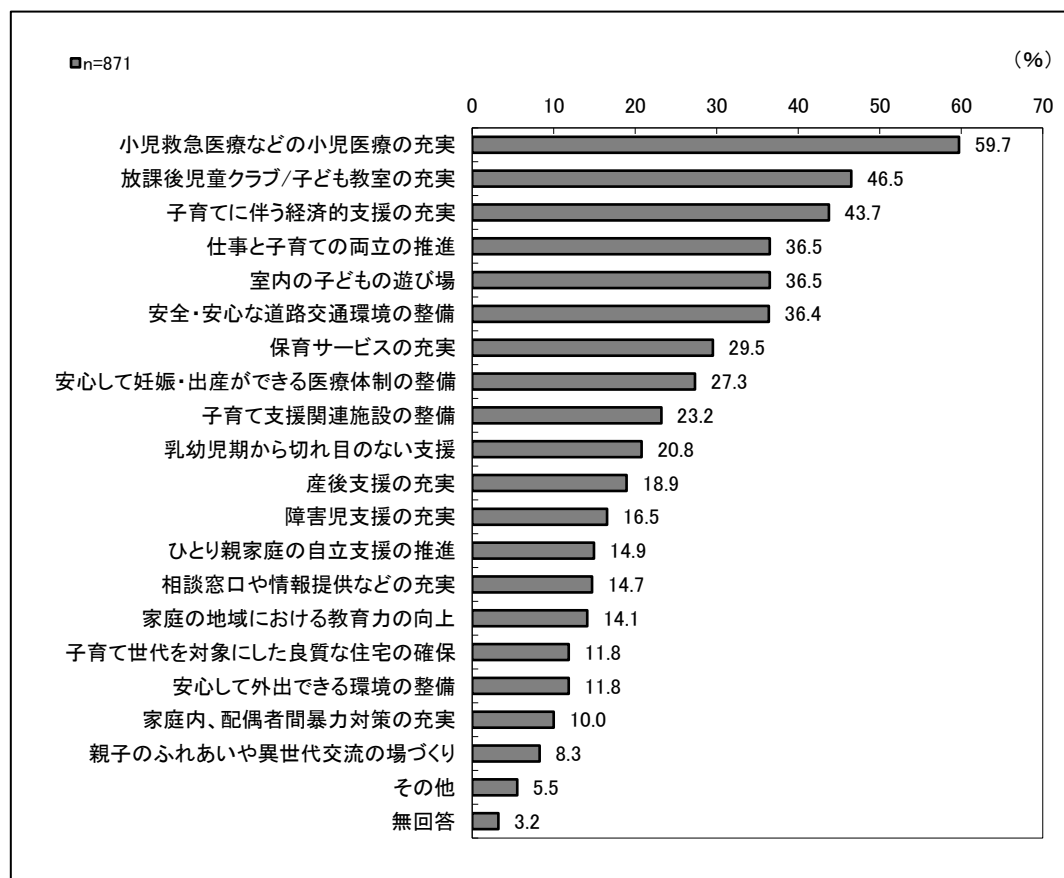


⑧ 市が重点的に取り組むべき子育て支援施策

問 18 子育て支援の環境づくりに対する施策について、市が重点的に取り組む必要性が高いと思われるものは何だと思いますか。【複数回答】

「小児救急医療などの小児医療の充実」(59.7%)が過半数を占めています。
 「放課後児童クラブ/子ども教室の充実」(46.5%)、「子育てに伴う経済的支援の充実」(43.7%)、「仕事と子育ての両立の推進」(36.5%)、「室内の子どもの遊び場」(36.5%)、「安全・安心な道路交通環境の整備」(36.4%)等がこれに続く結果となっています。

■市が重点的に取り組むべき子育て支援施策■



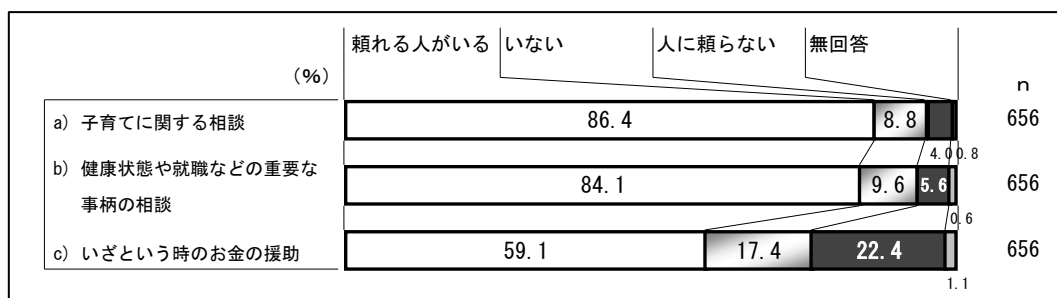
（３）保護者対象調査（調査名：本庄市子どもの生活状況調査）

① 頼れる人の有無

問 14 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

「c）いざという時のお金の援助」について、17.4%が「頼れる人はいない」と回答し、22.4%が「人に頼らない」と回答しています。

■頼れる人の有無■

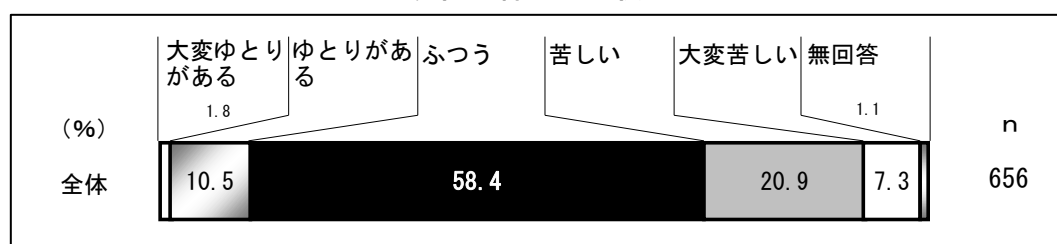


② 現在の暮らしの状況

問 15 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

「ふつう」が58.4%と回答の過半数を占めています。
一方、「大変苦しい」と「苦しい」を足し合わせると28.2%となり、回答者全体の3割弱を占める結果となっています。

■現在の暮らしの状況■



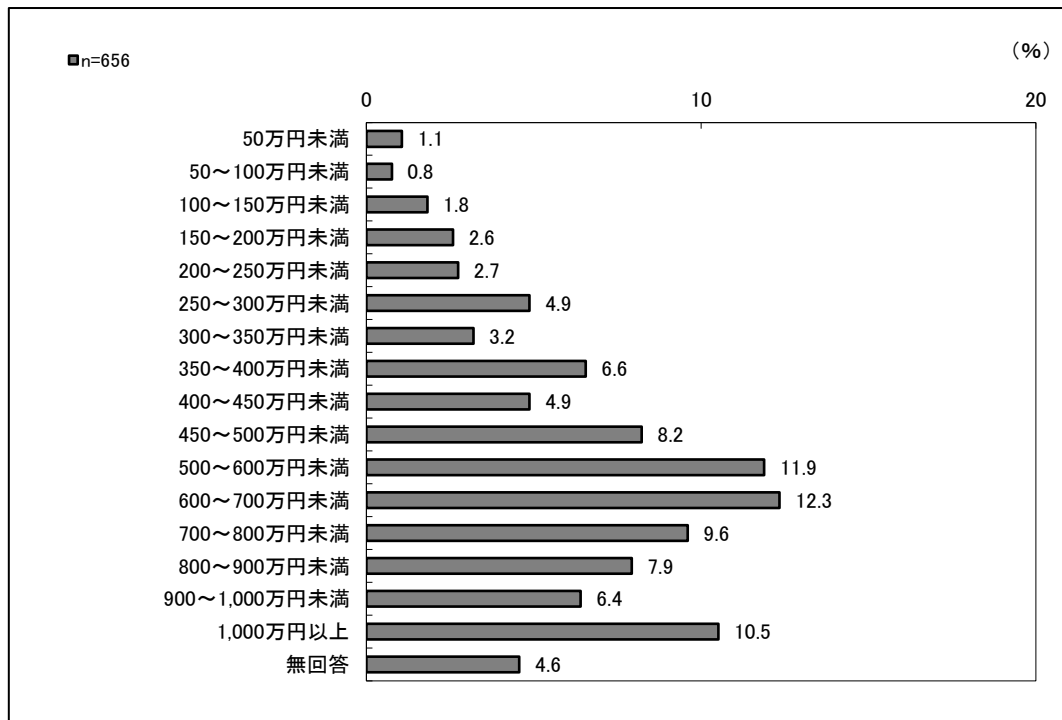
③ 世帯全体の年間収入（税込）

問 16 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。



世帯年収“300 万円未満”が 13.9%、“300～400 万円未満”が 9.8%、“400～500 万円未満”が 13.1%、“500～700 万円未満”が 24.2%、“700 万円以上”が 34.4%となっています。

■世帯全体の年間収入（税込）■



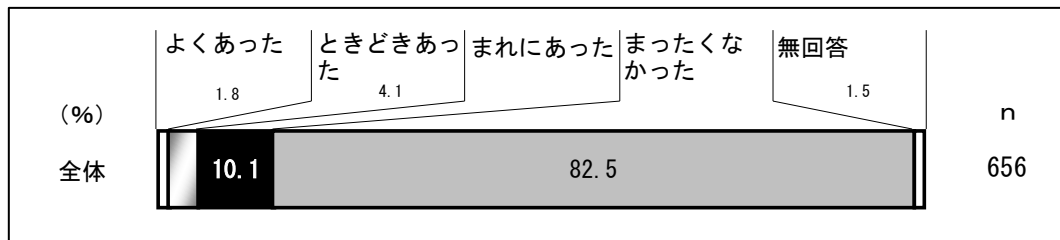
④ 過去１年に食料が買えなかったこと

問 17 あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。



「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を足し合わせると、回答者全体の16.0%を占める結果となっています。

■過去１年に食料が買えなかったこと■



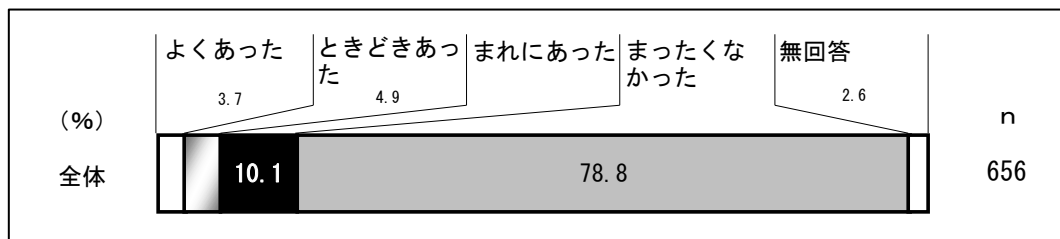
⑤ 過去１年に衣服が買えなかったこと

問 18 あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。



「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を足し合わせると、回答者全体の18.7%を占める結果となっています。

■過去１年に衣服が買えなかったこと■

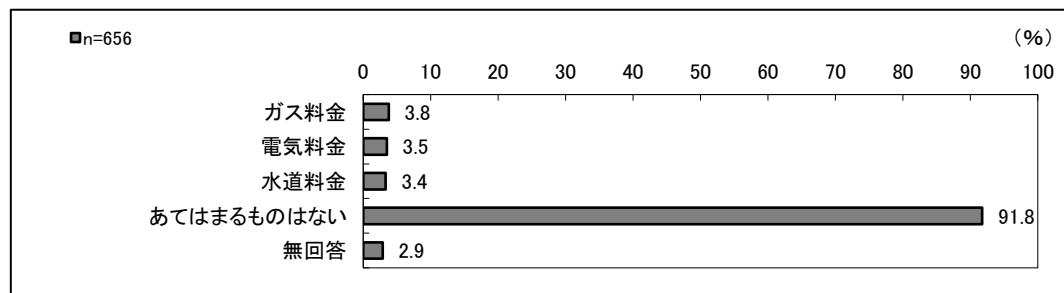


⑥ 過去 1 年に未払いになった光熱水費等

問 19 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。【複数回答】

「あてはまるものはない」(91.8%) が最も高い割合を占めています。
「ガス料金」(3.8%)、「電気料金」(3.5%)、「水道料金」(3.4%) がこれに続く結果となっています。

■過去 1 年に未払いになった光熱費■

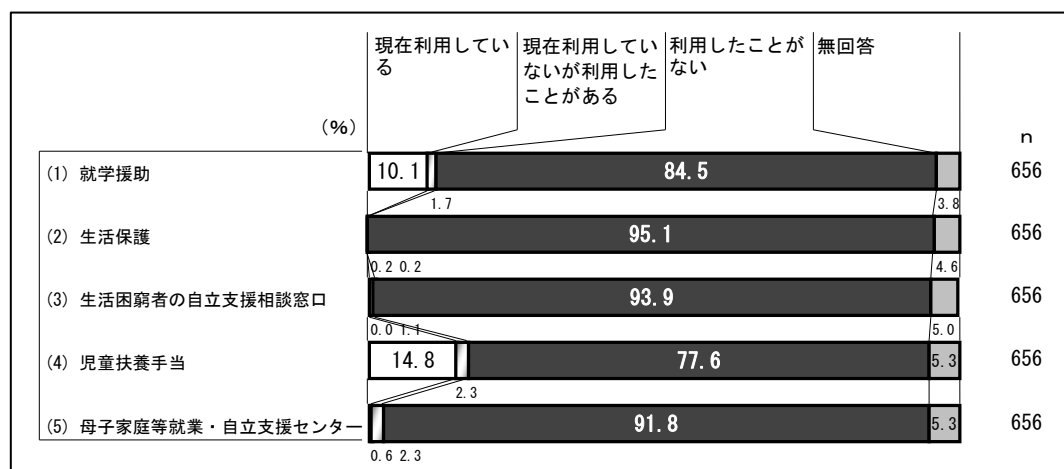


⑦ 支援制度の利用状況

問 20 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

“利用している（利用したことがある）”が最も高い割合を占めたのは『(4)児童扶養手当』で 17.1%となっています。

■支援制度の利用状況■



（４）小学生対象調査（調査名：本庄市子どもの生活状況調査）

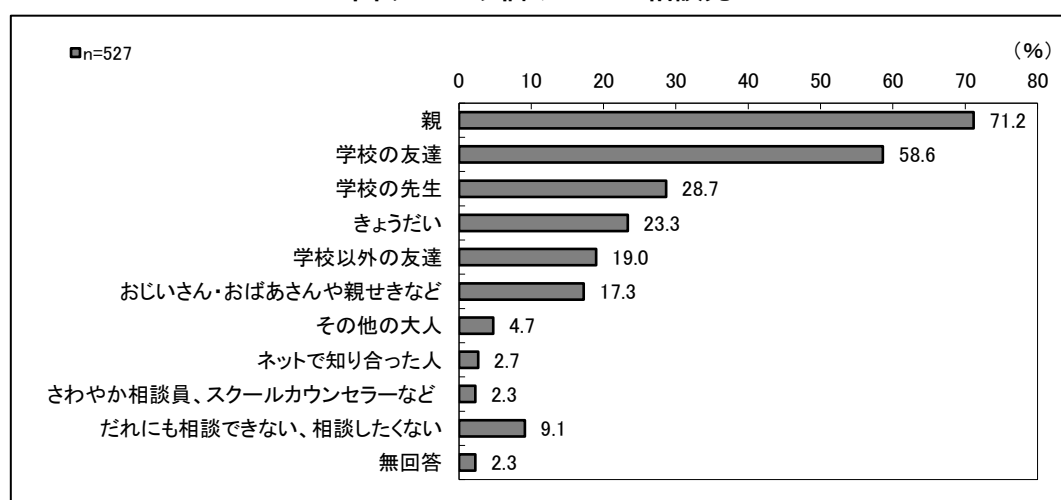
① 困りごとや悩みごとの相談先

問 15 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。【複数回答】



「親」（71.2%）、「学校の友達」（58.6%）が高い割合を占めています。
 「学校の先生」（28.7%）、「きょうだい」（23.3%）、「学校以外の友達」（19.0%）、「おじいさん・おばあさんや親せきなど」（17.3%）等がこれに続く結果となっています。
 一方、回答者の 9.1% が「だれにも相談できない、相談したくない」と回答しています。

■ 困りごとや悩みごとの相談先 ■



② 自宅や学校以外で安心できる場所

問 16 自分の家や学校（授業やクラブ）のほかに、安心できる場所はどこですか。

【複数回答】

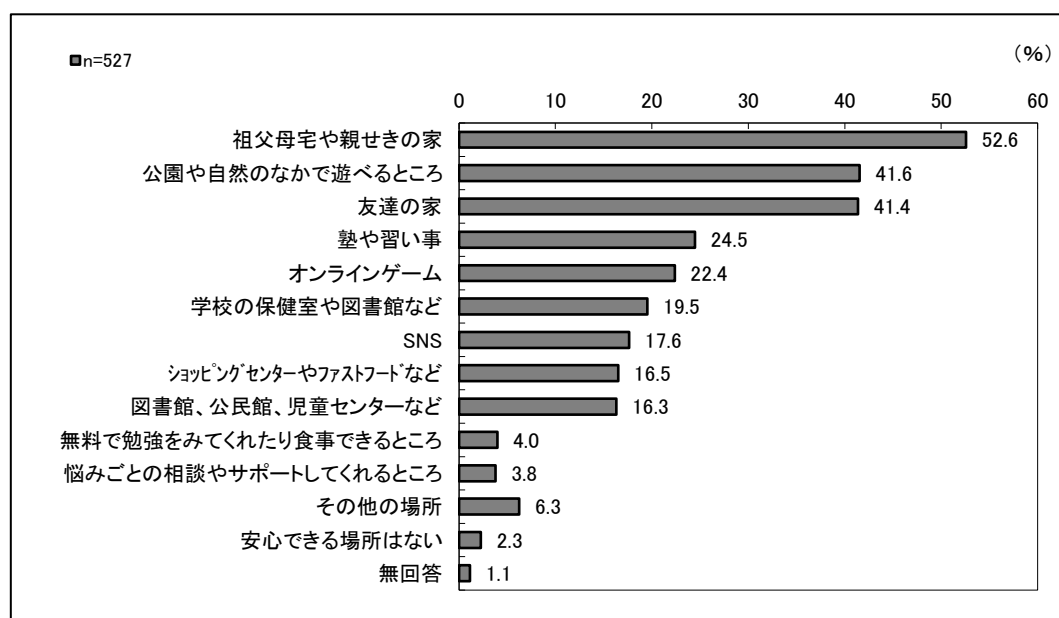


「祖父母宅や親せきの家」（52.6%）、「公園や自然のなかで遊べる場所」（41.6%）、「友達の家」（41.4%）が高い割合を占めています。

「塾や習い事」（24.5%）、「オンラインゲーム」（22.4%）、「学校の保健室や図書館など」（19.5%）、「SNS」（17.6%）、「ショッピングセンターやファストフードなど」（16.5%）、「図書館、公民館、児童センターなど」（16.3%）等がこれに続く結果となっています。

一方、回答者の 2.3% が「安心できる場所はない」と回答しています。

■ 自宅や学校以外で安心できる場所 ■

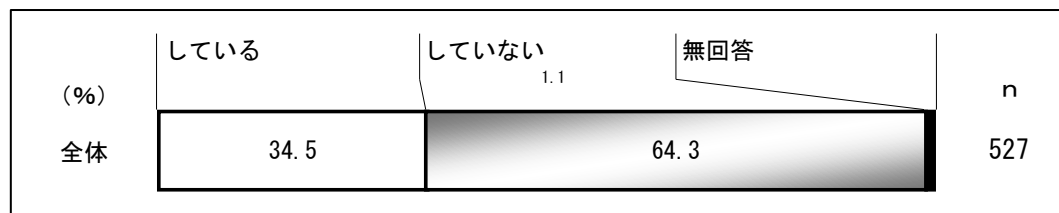


③ 大人に代わり家事や世話をしているか

問 20 あなたは大人に代わって家事をしたり家族のお世話をしたりしていますか。（「お世話」とは、ふつう大人が行うようなお世話のことです）

回答者の 34.5%が「している」と回答しています。

■大人に代わり家事や世話をしているか■



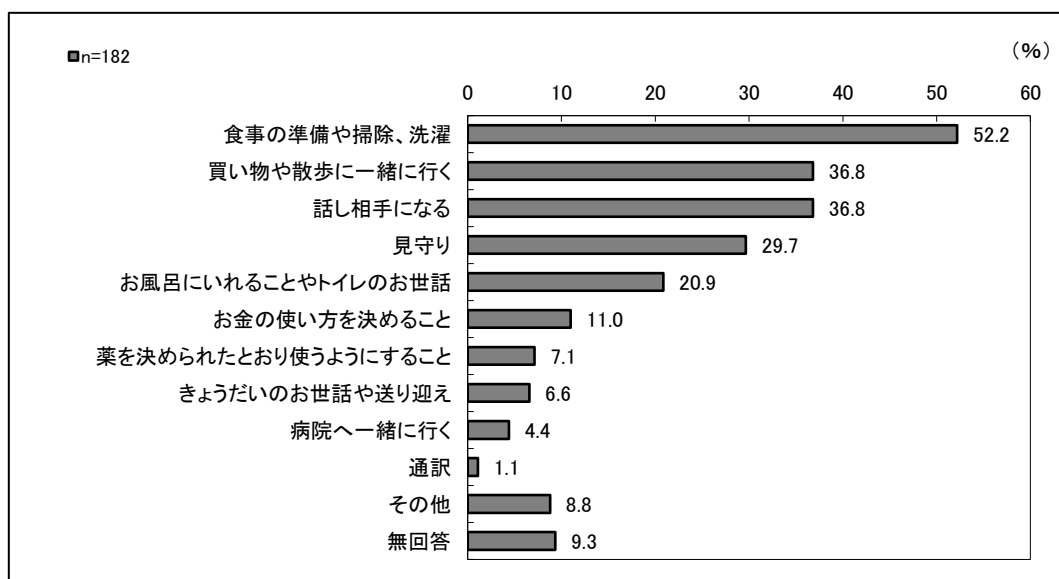
④ どのような世話をしているか

※問 20 で、「1. している」と答えた方のみ

③ あなたはどのようなお世話をしていますか。【複数回答】

「食事の準備や掃除、洗濯」（52.2%）が最も高い割合を占めています。

■どのような世話をしているか■



⑤ 世話をすることで大変なこと

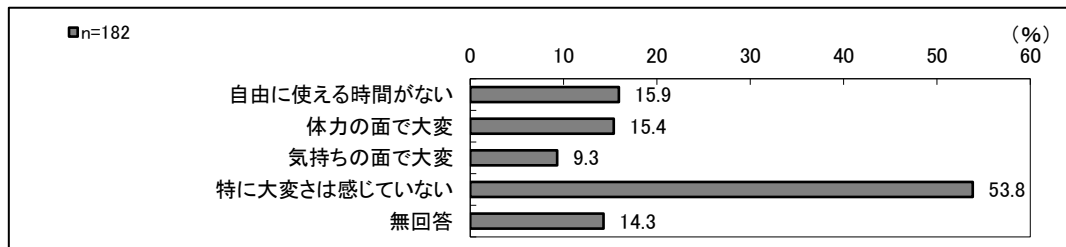
※問 20 で、「1. している」と答えた方のみ

問 23 お世話をすることで大変なことを教えてください。【複数回答】



「特に大変さは感じていない」（53.8％）が過半数を占めています。
 「自由に使える時間がない」（15.9％）、「体力の面で大変」（15.4％）、「気持ちの面で大変」（9.3％）がこれに続く結果となっています。

■世話をすることで大変なこと■



⑥ 学校や周りの大人にしてもらいたいこと

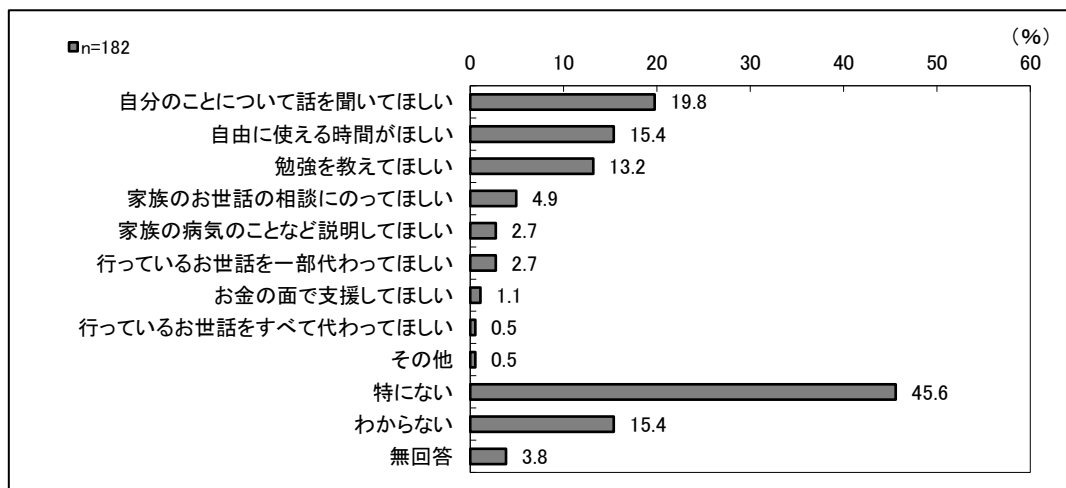
※問 20 で、「1. している」と答えた方のみ

問 25 学校や周りの大人にしてもらいたいことは何ですか。【複数回答】



「特にない」（45.6％）を除くと、「自分のことについて話を聞いてほしい」（19.8％）、「自由に使える時間がほしい」（15.4％）、「勉強を教えてほしい」（13.2％）が高い割合を占める結果となっています。

■学校や周りの大人にしてもらいたいこと■



（５）中学生対象調査（調査名：本庄市子どもの生活状況調査）

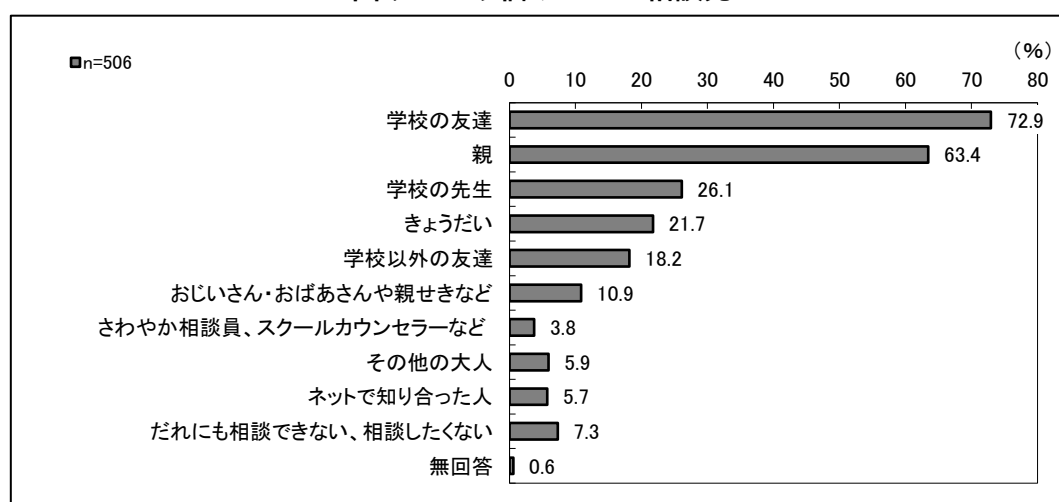
① 困りごとや悩みごとの相談先

問 15 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。【複数回答】



「学校の友達」（72.9%）、「親」（63.4%）が高い割合を占めています。
 「学校の先生」（26.1%）、「きょうだい」（21.7%）、「学校以外の友達」（18.2%）、「おじいさん・おばあさんや親せきなど」（10.9%）等がこれに続く結果となっています。
 一方、回答者の 7.3% が「だれにも相談できない、相談したくない」と回答しています。

■困りごとや悩みごとの相談先■



② 自宅や学校以外で安心できる場所

問 16 自分の家や学校（授業やクラブ）のほかに、安心できる場所はどこですか。

【複数回答】

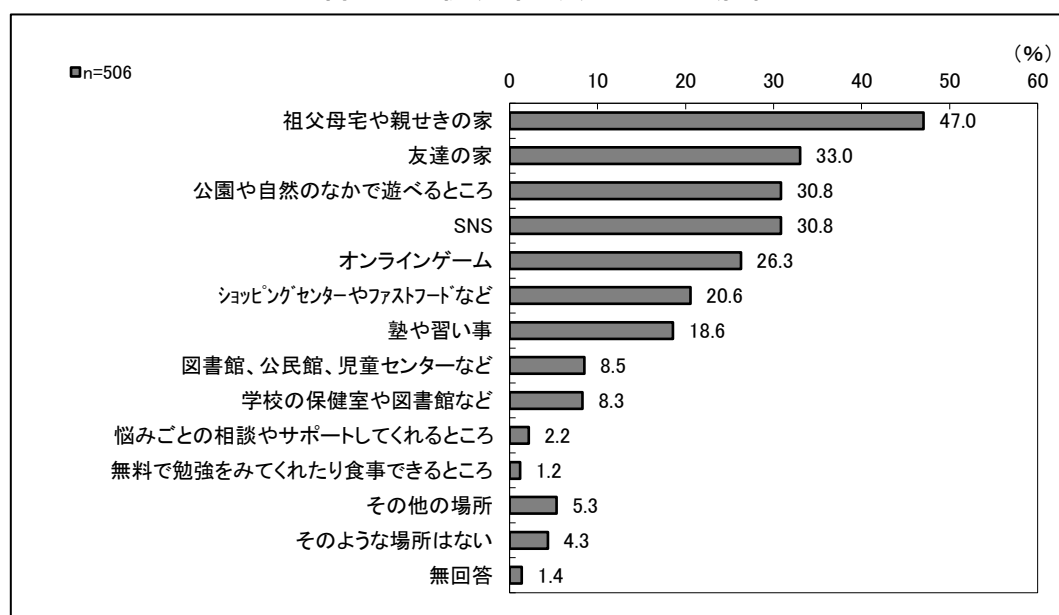


「祖父母宅や親せきの家」（47.0％）が最も高い割合を占めています。

「友達の家」（33.0％）、「公園や自然のなかで遊べる場所」（30.8％）、「SNS」（30.8％）、
「オンラインゲーム」（26.3％）、「ショッピングセンターやファストフードなど」（20.6％）、
「塾や習い事」（18.6％）等がこれに続く結果となっています。

一方、回答者の 4.3％が「そのような場所はない」と回答しています。

■自宅や学校以外で安心できる場所■

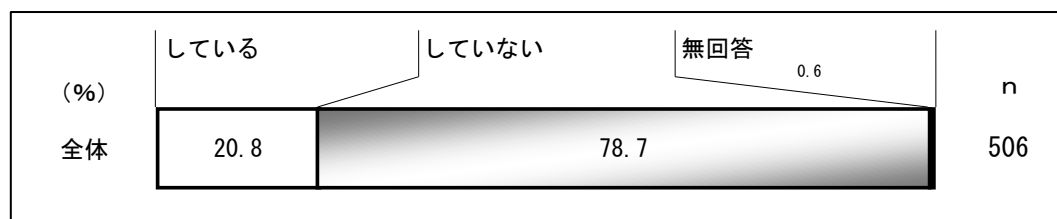


③ 大人に代わり家事や世話をしているか

問 20 あなたは大人に代わって家事をしたり家族のお世話をしたりしていますか。（「お世話」とは、ふつう大人が行うようなお世話のことです）

回答者の 20.8%が「している」と回答しています。

■大人に代わり家事や世話をしているか■



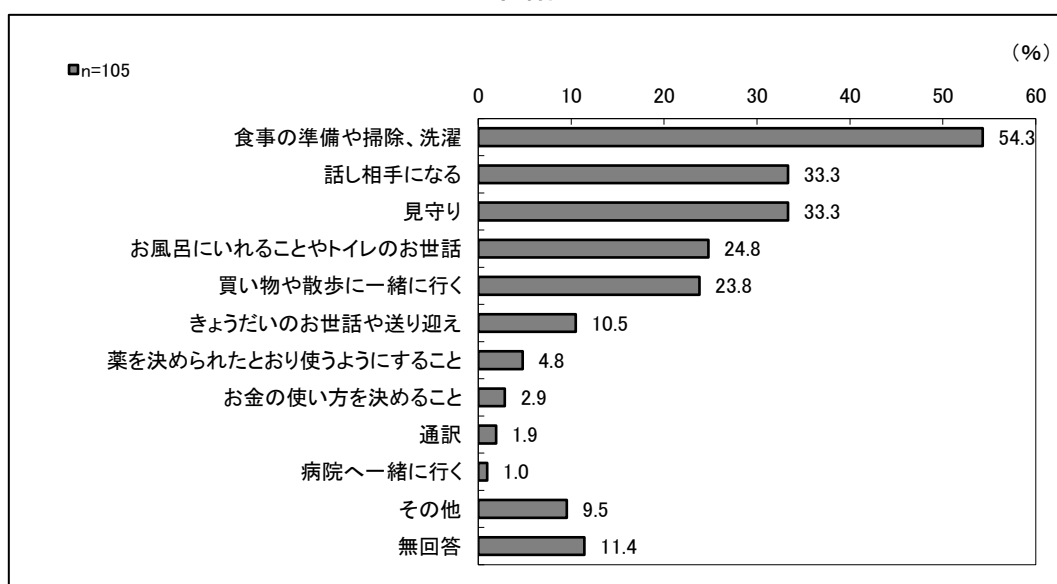
④ どのような世話をしているか

※問 20 で、「1. している」と答えた方のみ

③ あなたはどのようなお世話をしていますか。【複数回答】

「食事の準備や掃除、洗濯」（54.3%）が最も高い割合を占めています。

■どのような世話をしているか■



⑤ 世話をすることで大変なこと

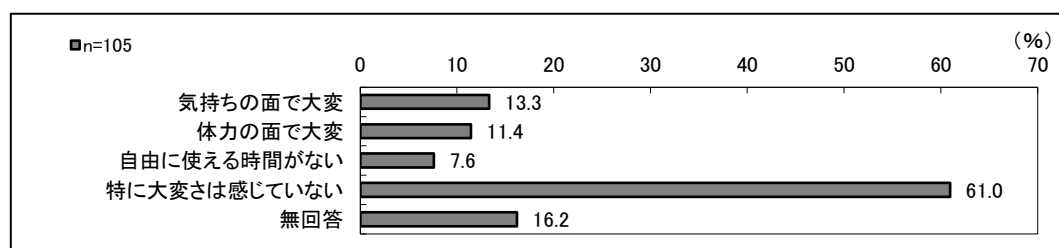
※問 20 で、「1. している」と答えた方のみ

問 23 お世話をすることで大変なことを教えてください。【複数回答】



「特に大変さは感じていない」（61.0％）が過半数を占めています。
「気持ちの面で大変」（13.3％）、「体力の面で大変」（11.4％）、「自由に使える時間がない」（7.6％）がこれに続く結果となっています。

■世話をすることで大変なこと■



⑥ 学校や周りの大人にしてもらいたいこと

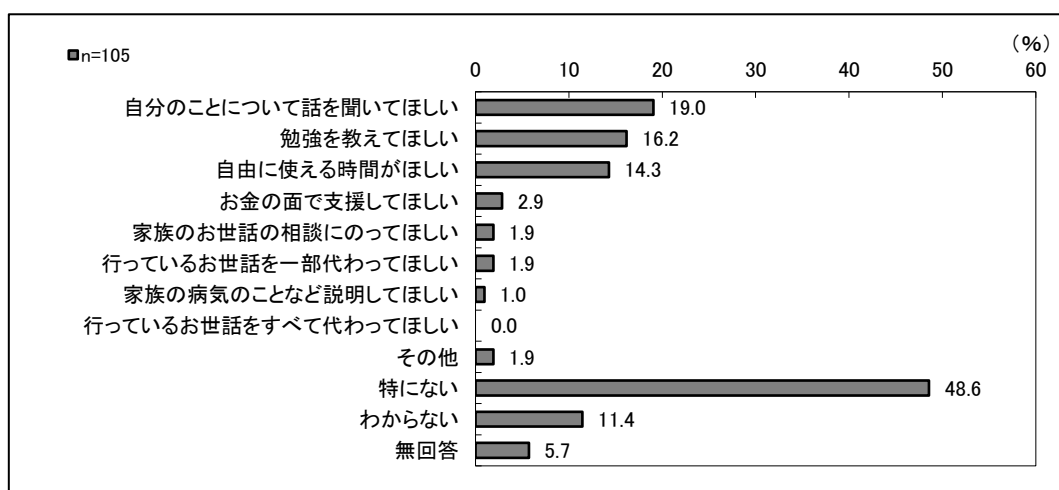
※問 20 で、「1. している」と答えた方のみ

問 25 学校や周りの大人にしてもらいたいことは何ですか。【複数回答】



「特にない」（48.6％）を除くと、「自分のことについて話を聞いてほしい」（19.0％）、「勉強を教えてほしい」（16.2％）、「自由に使える時間がほしい」（14.3％）が高い割合を占める結果となっています。

■学校や周りの大人にしてもらいたいこと■



（6）16～39 歳のこども・若者世代対象調査（調査名：本庄市子ども・若者意識調査）

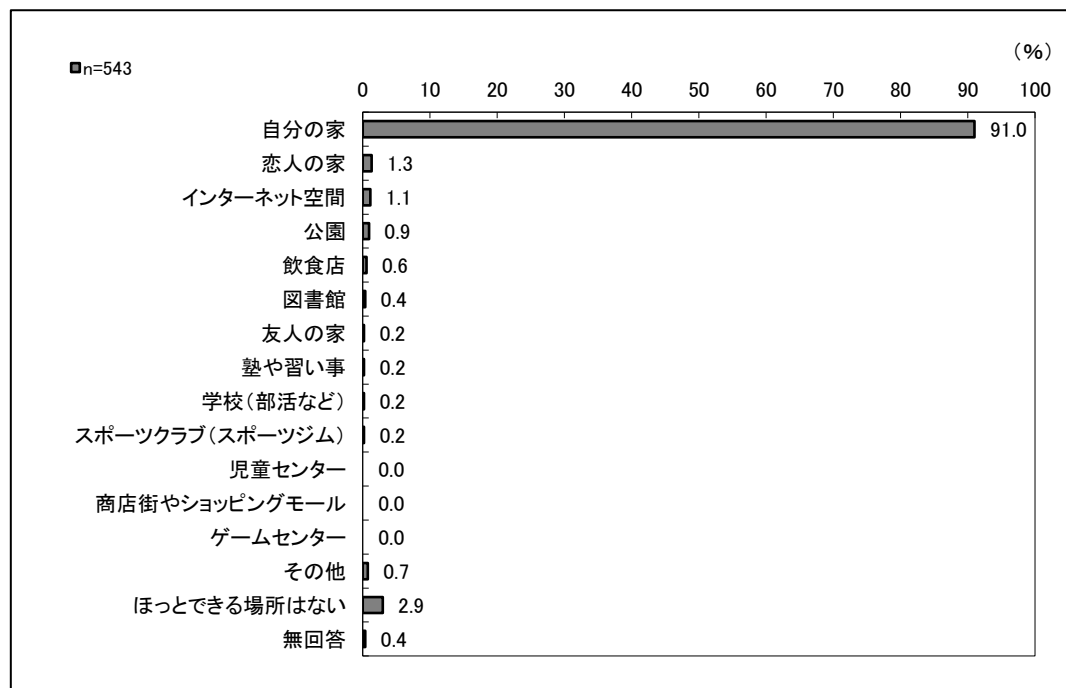
① 一番ほっとできる場所

問 16 あなたが日頃過ごしている場所のうち、一番ほっとできる場所は以下のどれですか。



「自分の家」（91.0％）が回答のほとんどを占めています。

■一番ほっとできる場所■



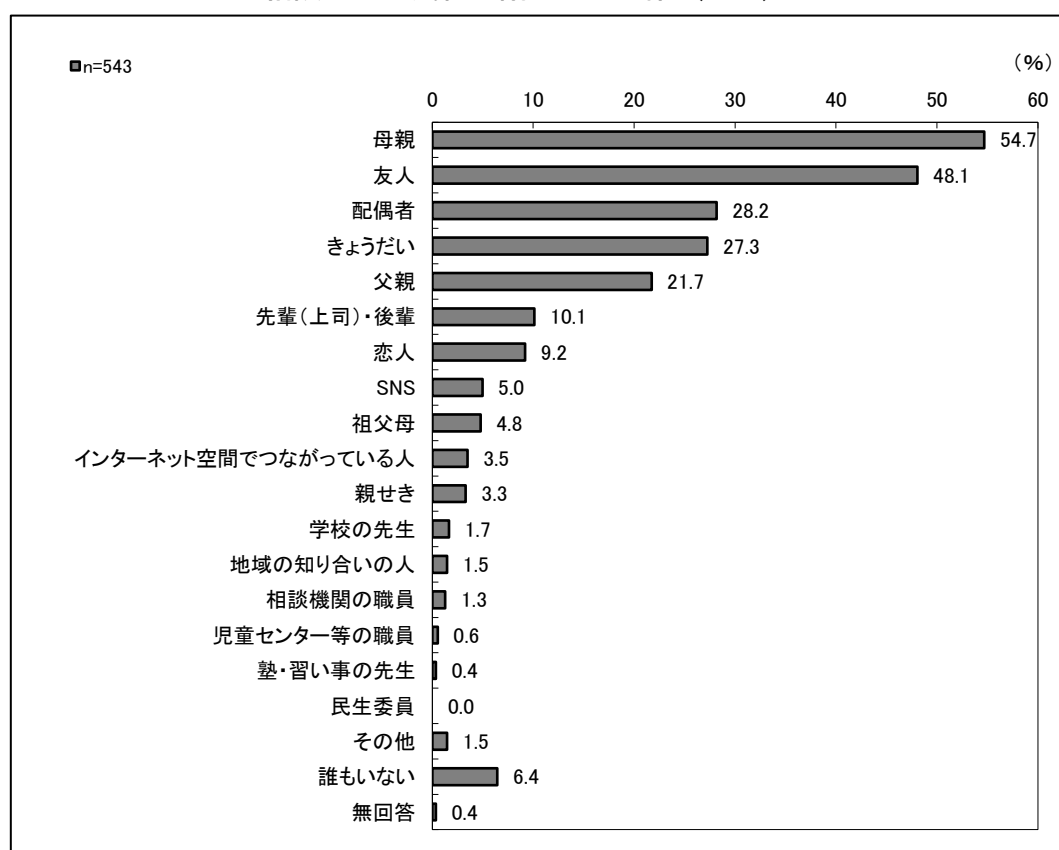
② 相談などを気軽に話せる人は誰（どこ）か

問 17 あなたは、何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる人がいますか。【複数回答】



「母親」（54.7%）、「友人」（48.1%）が高い割合を占めています。
 「配偶者」（28.2%）、「きょうだい」（27.3%）、「父親」（21.7%）、「先輩（上司）・後輩」（10.1%）、「恋人」（9.2%）等がこれに続く結果となっています。
 一方、回答者全体の6.4%が「誰もいない」と回答しています。

■相談などを気軽に話せる人は誰（どこ）か■

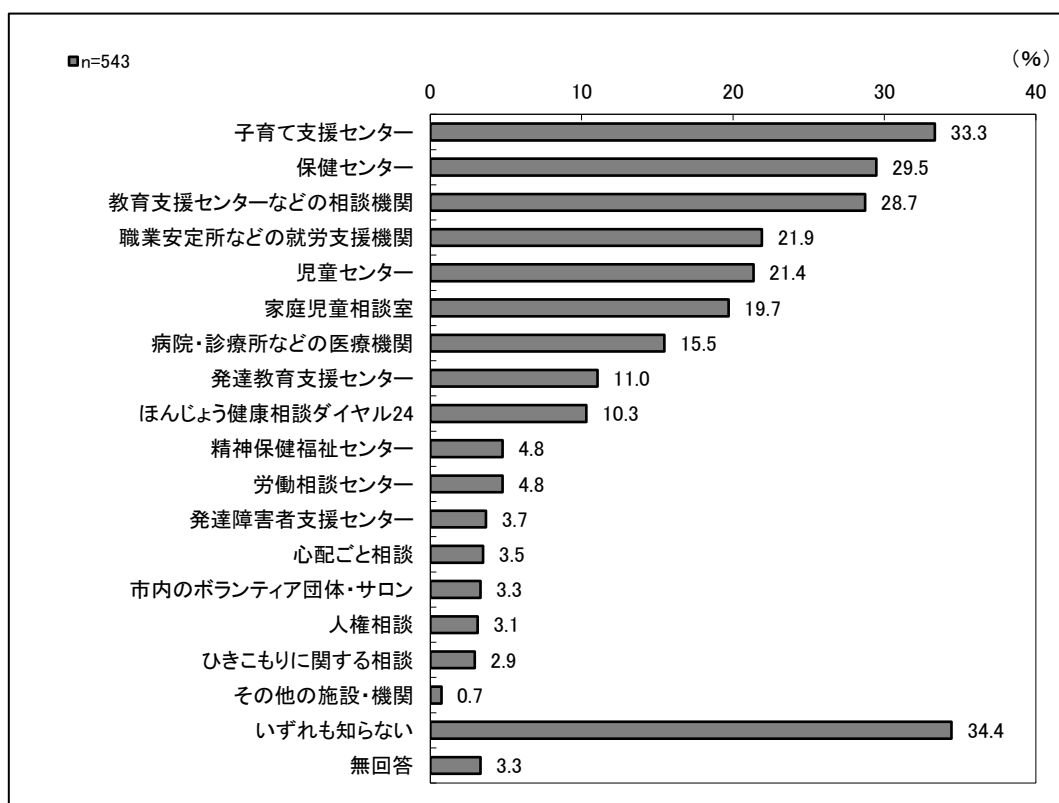


③ 悩みがあるとき相談できる機関等を知っているか

問 18 あなたは、悩みや聞いてほしいことがあったときに相談できる、次の機関等を知っていますか。【複数回答】

「いずれも知らない」（34.4％）が最も高い割合を占めています。
 「子育て支援センター」（33.3％）、「保健センター」（29.5％）、「教育支援センターなどの相談機関」（28.7％）、「職業安定所などの就労支援機関」（21.9％）、「児童センター」（21.4％）、「家庭児童相談室」（19.7％）等がこれに続く結果となっています。

■悩みがあるとき相談できる機関等を知っているか■



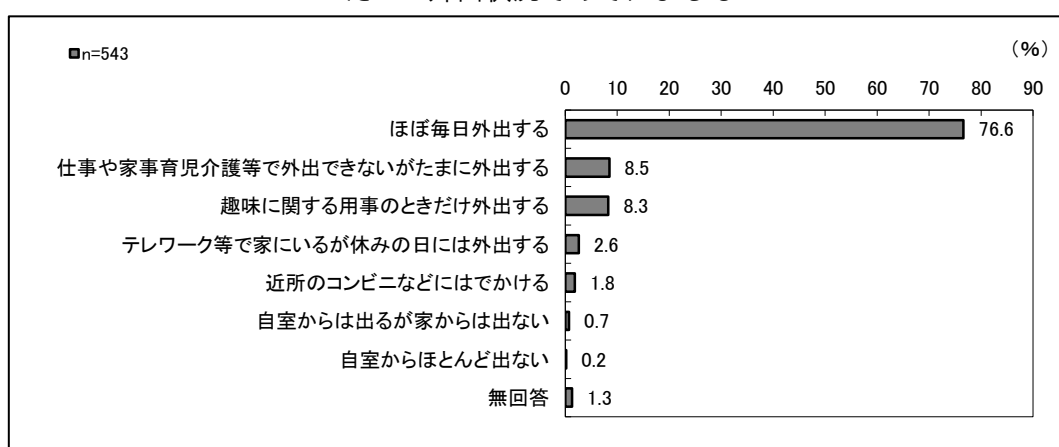
④ ふだんの外出状況であてはまるもの

問 24 ふだんの外出状況であてはまるものはどれですか。



「ほぼ毎日外出する」（76.6％）が最も高い割合を占めています。
 「仕事や家事育児介護等で外出できないがたまに外出する」（8.5％）、「趣味に関する用事の時
 ときだけ外出する」（8.3％）、「テレワーク等で家にいるが休みの日には外出する」（2.6％）、
 「近所のコンビニなどにはでかける」（1.8％）、「自室からは出るが家からは出ない」（0.7％）、
 「自室からほとんど出ない」（0.2％）がこれに続く結果となっています。

■ふだんの外出状況であてはまるもの■



⑤ 市が特に取り組むべきこと

問 31 子ども・若者が希望をもてる本庄市となるために、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。【複数回答】



「年齢や経済的に心配せず学習・学び直しができる環境等の充実」(50.3%)が回答の過半数を占めています。

「就労に向けた相談やサポート体制の充実」(41.4%)、「若者たちが自主的に活動できる場所や機会の充実」(37.9%)、「気軽に悩みを相談できる場所や機会の充実」(32.2%)、「ニートや不登校等の子ども若者の支援の充実」(30.4%)、「児童虐待防止に向けた取組の強化」(29.8%)、「障害のある子ども若者の支援の充実」(27.3%)、「地域における見守りなど非行防止対策の充実」(22.3%)、「有害環境から青少年を守る取組の充実」(13.3%)等がこれに続く結果となっています。

■市が特に取り組むべきこと■

